



J.Y.P.S.
Japan Youth Platform for Sustainability

海外派遣成果報告会

～2030アジェンダ達成に向けたユースの挑戦～



12月15日(日) 13:30～16:00



渋谷キャスト スペース
(第1部のみオンライン配信)

後援



外務省

Ministry of Foreign Affairs of Japan



環境省

Ministry of the Environment



2030生物多様性枠組実現日本会議 (J-GBF)





目次

1. JYPS事務局の紹介

a. 「新時代のパイオニア」プロジェクト

b. SDGs Youth Summit

2. 未来サミット

3. NEA

4. COP29

5. SNSの紹介



VISION

社会のすべての人々が、
公平に自らの意見を政策に反映させることを通じて、
衡平で公正な社会が実現された世界を目指します。

MISSION

若者の意見を集約・調整する自治民主的な仕組みの
設立、管理、そして改善をすることを通じて、若者
が政府や国際的な枠組みにその意見を反映させるこ
とを可能にします。

若者の声を政策へ

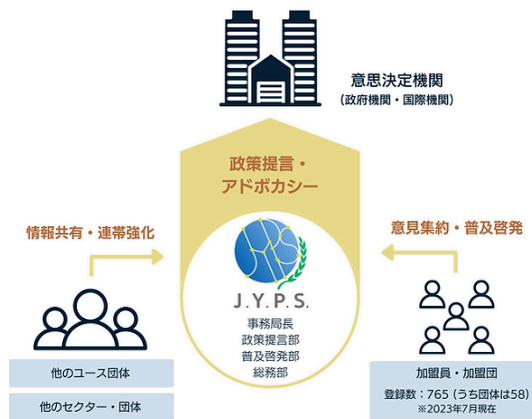
政策立案・調整



会議参画・登壇



普及啓発・発信



JYPSは、2015年に国連で採択された

「持続可能な開発のための2030アジェンダ (SDGs)」や

他の国際的な枠組みを作るための議論に向けて、日本の若者の声を

集約し、それを政策として日本政府や国連市民社会に届ける「場」です。

多様なバックグラウンドを持つ若者の声を実現させ、

社会を変革することを目指しています。

Voluntary Youth Review (自発的ユースレビュー/VYR)

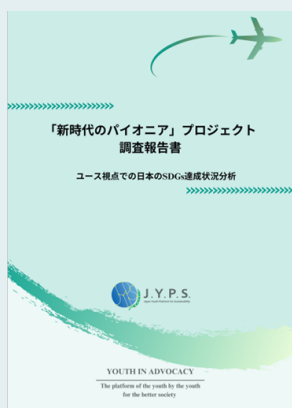
「行動と変革の6年間」

SDGs達成予定の2030年まで残り6年となった今、未達成のゴールや、次に目標にすべき社会を議論する必要性が増しています。そこでJYPSは2030年までを『行動と変革の6年』として、Voluntary Youth Review（自発的ユースレビュー/VYR）を実施すべく「新時代のパイオニア」プロジェクトを始動させました。約5か月間にわたって、オンライン調査やディスカッションイベントを実施し、ユースの視点からSDGsの進捗分析を行いました。そして、「格差・貧困・ジェンダー」「教育とwell-being」「環境」「ユース参画」の4つの視点から調査報告書を作成しました。

「新時代のパイオニア」プロジェクト



SDGs Youth Summit



SDGsのユース調査に関する発表や他のユース団体やセクターとのパネルディスカッションなどを通して、ユースの社会参画を促進するために毎年開催しているイベントです。

2024年9月に行われたYouthSummitでは、「新時代のパイオニア」プロジェクトの成果発表も行われました。



～会議の説明～

未来サミットは、2024年9月22～23日に
ニューヨークの国連本部で開催された、
ハイレベル年次会合の直前の国際会議です。
開催期間中には、現在世界が直面する課題に
対応する包括的な取り組みを示す『未来のための
協定』(Pact for the Future) やその付属文書である
グローバル・デジタル・コンパクト、そして
将来世代に関する宣言 (Declaration on Future
Generation) が採択されました。未来サミットに
先立ち開催されたアクション・デイズの
オープニングセレモニーのテーマは、
「#YouthLead the Future」で、同日に
「#YouthLead」と題したセッションが
6つ開催されました。



Summit of the Future

Our Common Agenda

未来サミット
@ニューヨーク国連本部



～事前準備～

未来サミットに向け、JYPS事務局は
Major Group for Children and Youth
(MGCY)が公式に開催している
コンサルテーションへの参加や、『未来の
ための協定』(Pact for the Future) への
インプットなどを行いました。また、日本
国内の他の市民社会やNGOとも協力し、
外務省との意見交換会や提言も行いまし
た。未来サミットに関する日本国内の認知
度が低かったことから、政策提言の他に
JYPSのインスタグラムなどを通して普及
啓発活動も行い、現地でのユースとの交流
のあにJYPSの理念や活動をまとめた
パンフレットなども作成しました。



～現地での活動～

アクション・デイズ
(9月20日～21日)

JYPSからは4名の事務局員が現地で参加しました。国連グテーレス事務総長や各国のユースが登壇したオープニングセレモニーを皮切りに「#Youth Lead」など複数のセッションやサイドイベントに参加しました。アクション・デイズに参加するために世界中から集まったユースや関係者らと積極的に意見交換や交流を行いました。また、現地からSNSのライブ配信・ストーリー投稿、ZOOMなど様々な媒体で日本へ向けた情報発信も行いました。




Summit of the Future

Our Common Agenda

未来サミット
@ニューヨーク国連本部 

～今後の展望～

未来サミットにおいて、イベントだけでなく成果文書において若者のプレゼンスが高かったことを踏まえ、同じく未来サミットに参加したユース団体の「一般社団法人かたわら」、「一般社団法人日本若者協議会」とともに、『未来サミットポストイベント～未来サミットを振り返り、日本での若者の意味のある参画について考える～ #Youth lead』を11月8日に開催しました。本イベントでは「未来のための協定」を踏まえ、現状の課題や日本国内で今後「意味あるユース参画」を推進していくためには何が必要なのかを、こども家庭庁長官官房参事官（総合政策担当）中原茂仁氏、外務省総合外交政策局国連企画調整課長梶田拓磨氏、国連広報センター所長根本かおる氏ら国内の主要なステークホルダーを交えて議論することができました。今後とも、未来サミットで確認された国内、そして国際の場におけるユースの意味ある参画を一步步推進していくために、国内のユースへの普及啓発や、海外のユースとの連携などを図っていきたくと考えています。



NEA

North-East Asia Multistakeholder Forum on Sustainable Development Goals

What's NEA?

NEA (North-East Asia Multistakeholder Forum on Sustainable Development Goals) とは、UN-ESCAP (United Nations Economic and Social Commission for Asia and the Pacific) が2017年から開催している準地域レベルの国際会議です。開催国は毎回異なり、今年は韓国で行われました。開催期間は3日間で、大まかに分類すると以下のようになります。

1st Day

市民社会フォーラム
ユースフォーラム

2nd Day

NEA本会議開始
Keynoteセッション
各SDGsのセッション

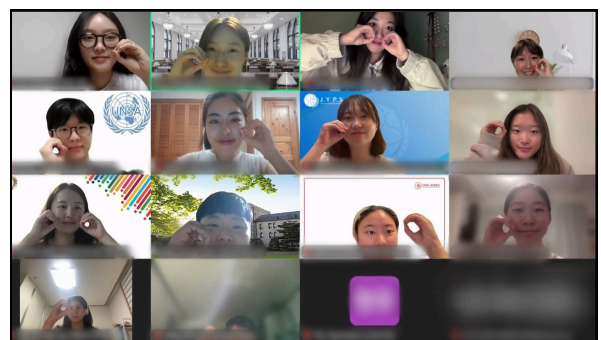
3rd Day

ラーニングセッション
NEA本会議終了

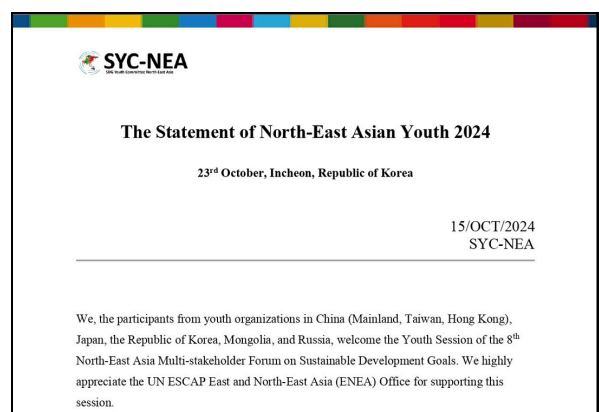
また、NEAは地域レベルの国際会議であるAPFSD (Asia-Pacific Forum on Sustainable Development)、そして、国家元首や政府首脳レベルで4年ごとに開かれるHLPF (High-Level Political Forum) の基盤となる大事な国際会議の一つです。

事前準備

今年はNEAへの準備体制が昨年と比べて大幅に変わりました。昨年はJYPS事務局単体としてNEAに向けて準備をしていましたが、今年は、北東アジアのユースプラットフォーム「SYC-NEA (SDG Youth Committee NEA)」の一員として活動してきました。「SYC-NEA」は、昨年のNEA開催後に誕生しました。9月にはイベントとしてディスカッションイベントを開催しました。また、ユースフォーラムの開催やユースステートメントの作成に取り組みました。



↑ 9月に行われたディスカッションイベントの様子



↑ 共同作成したユースステートメント (一部)

現地での活動

1日目

午前中は市民社会フォーラムに参加しました。午後はユースフォーラムにて、各国のSDGsの進捗と、SDGs別に見た北東アジアの取り組みといった2つの観点から進捗状況を報告しました。



2日目・3日目

NEAの本会議を傍聴し、閉会式にて市民社会フォーラムのステートメントを発表しました。また、最終日にはスタディーツアーがあり、今年の開催地である韓国のスマートシティや文化についても学びました。



今後の展望

JYPS単体として活動していた昨年のNEAとは違い、今年はSYC-NEAとしての活動や現地参加ができたことから、来年は北東アジアのユースとさらに強いコネクションを築き上げ、持続可能な社会へ向けて活動していきたいと考えています。また、NEAは準地域レベルの国際会議であることから他の大規模なものより知名度が低く、日本国内ではあまり重要視されていないため、APFSD、そしてHLPFに繋げていくためにも知名度を上げ、重要性を訴えていきたいと考えています。



COP29 Baku Azerbaijan

UN CLIMATE CHANGE CONFERENCE



COP29
Baku
Azerbaijan
UN CLIMATE CHANGE CONFERENCE

国連気候変動枠組み条約締約国会議（通称 UNFCCC COP）は国連の気候変動対策に向けた最大の国際会議です。2015年開催の COP21以降は、1.5度目標をはじめとするパリ協定の推進・達成のため議論が進められています。29回目となるCOP29は2024年11月11～22日の2週間、アゼルバイジャン・バクーにて開催されました。



渡航前の活動・準備



COP29に向けたユース連携セミナー
2024/11/01
J.Y.P.S.

COP29の開催に先立ち、日本のユースを対象としてオフラインイベント及びオンラインイベントを開催しました。開催目的は「COP29をユースへ周知すること」「環境課題に対するユースの知見を深めること」「COP29で発信すべきユースの意見を再確認すること」の3点です。

COP29に向けたユース連携セミナー

オンライン・対面イベント開催



環境省との意見交換会

COP29での活動を日本政府と連携して行っていくため、渡航前に環境省と意見交換会を行いました。日本政府が重要視する議題や取る立場等の議論に加え、JYPSのCOP29活動計画の共有やユースの役割に関して意見を交わしました。



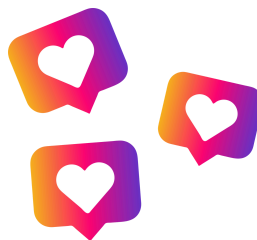
派遣したJYPS事務局員のうち2人が海外在住なため、ハイブリッド形式で開催しました。

今後の

環境分野

の

普及啓発活動



現在、ユースの中でも環境分野に対する知識や興味に偏りがあると感じています。そのため、COP29を通して感じたこと・学んだことをもとに、同分野の知見の共有や連携の強化、ユースのプレゼンスを向上していくために、普及活動に力を入れていきます。

交渉追跡、イベント/会議への参加

緩和/適応資金、グローバルストックテイク、適応に関する世界全体の目標等の議題を扱う閣僚級の会合から非公式会議会議まで幅広く参加しました。ユース主導の気候フォーラム、ドイツ政府主催の交渉官とユースの対話、世界気象機関のユースコンサルテーションにも積極的に参加し、ユースの役割や影響力を再考できました。また、交渉に並行して様々なイベントや展示が開催され、活動の成果や研究結果の発表など、知識提供も行われていました。



日本のユースに向けた発信

交渉、アクション、イベントの様子等をSNSで発信しました。COP最終日にはオンライン報告会を開催し、会場の様子を映しながら臨場感のある発信を行いました。

ユース参画度調査

各国のユース参画度を調査するため、オンラインアンケートとパビリオンの情報収集を行いました。各国・機関が主催するパビリオンイベントのうち、ユースが参加するイベントがいくつあるかを調査し、今後の政策提言に活用していきます。



ユースの環境活動に関するサイドイベントをCYJと共催

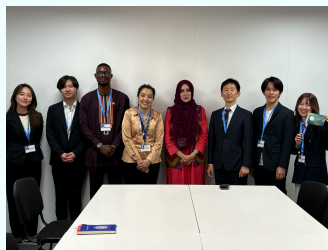
青年環境NGO Climate Youth JapanとGlobal Alliance of Universities on Climate (GAUC) Pavilionにてユースの環境活動に関するサイドイベントを共催しました。様々な活動経験を持つユース5名に登壇していただき、各々が考えるユースの環境活動のあり方やCOPに参加できる特権を持った若者としての振る舞いなど、有意義な議論ができました。様子をSNSで配信し、55人に視聴していただきました。

途上国ユースと

日本政府

(環境省・外務省)


の意見交換会の実施



開発途上国のユースが日本政府に対して、気候変動政策の野心化やユース参画の促進に関して、互いに対話する機会を設けるため、開発途上国のユースと日本政府（環境省・外務省）の意見交換会を現地で開催しました。双方の建設的な意見交換ができ、出身国、立場、世代を越えた対話の重要性を再確認することができました。

展望

COP30に向けた定期的な勉強会の開催



環境分野における知識や交渉は複雑化し専門的な知識を要するケースが多くなっています。これが、ユースが交渉や意思決定プロセスへ介入できない要因の一つにもなっていることをCOP29への参画を通して改めて実感しました。来年度のCOP30は「節目の年」と言われていることから、市民社会でも大きな決断がされるのではないかと期待されています。今後の交渉や意思決定プロセスにユースが参画するためにも、JYPS事務局だけでなく、様々なセクターも含め定期的に勉強会等を開催し知識を深めていきたいと思っています。

環境省との連携強化

今回の渡航前・会期中の意見交換会で出身国、立場、世代など関係なく建設的な対話ができ大変学びの多い機会になったことから、今後ともユース参画の促進のためにも環境省との連携を強化していきたいと考えています。





HP



Facebook



X



Instagram



様々なイベントや活動を発信しています！



THANK YOU



J.Y.P.S.
Japan Youth Platform for Sustainability

© 2024 Japan Youth Platform for Sustainability.
All Rights Reserved